## 農業経営振興センターのいちごに関する調査について

1主な作型(収穫開始時期の違いによる区分)

【栽培施設】

① 促成 <9月定植>当年11月から翌年6月まで収穫

【パイプハウス】

※短日夜冷処理後に定植、保温し栽培。

(短日:8時間日長16:30~翌8:30 遮光)

(夜冷:同上時間帯 13~15℃)

② 半促成

<8月定植>翌年3月から翌年6月まで収穫

※自然低温日長後に保温し栽培。【パイプハウス】

③ 夏秋

<3.4 月定植>当年6月から11月まで収穫

※四季成り

【ガラス温室、パイプハウス】

④ 露地

<9月定植>翌年6月収穫

※季咲き

2 主な品種

別添資料1の「2(3)八戸のいちごたち」を参照

3調査概要

※いずれも生育、収量について調査

栽培の詳細は裏面

(1) 八戸特産野菜いちご品種「麗紅」の作柄調査<作型②> 概要:八戸特産野菜であるいちごの半促成作型品種 「麗紅」の収量・品質について調査し、栽培上の 資料とするもの。

(2) 夏秋どりいちご(十耕栽培)の定植方法別比較調査<作型③> 概要:夏秋どり品種「すずあかね」の定植方法(直接定

植と育苗後定植)の違いによる生育・収量につい

て比較調査し栽培上の資料とするもの。

(3) 夏秋どりいちご(土耕栽培)の栽培管理別比較調査<作型③>

概要:夏秋どり品種「すずあかね」のマルチの施用方法 の違いによる生育・収量について比較調査し栽培

上の資料とするもの。

(4) 夏秋どりいちご(高設栽培)の培地比較調査<作型③>

概要:高設栽培における各種培地の違いによる生育・収量につ

いて調査し、栽培上の資料とするもの。

上記の他に、作型①、②の展示栽培あり。

## ○各施設のいちご栽培概要

栽培場所	パイプハウス 4 号(132 ㎡:約 40 坪)	パイプハウス 7 号 (99 m²:約30坪)	パイプハウス 16 号(63 ㎡ : 約 19 坪)
作型	① 促成	②半促成	
耕種概要			
栽培方法	養液土耕栽培	養液土耕栽培、無加温	
ポット受期	平成 28 年 6 月 2 日~		
夜冷処理期間	平成28年7月29日~9月2日 (とちおとめ) 平成28年7月29日~9月5日 (さちのか)		
夜冷処理日数	35 日 (とちおとめ)、38 日 (さちのか)		
夜冷処理方法	短日処理 8時間日長 (16時 30分~翌 8時 30分遮光) 夜冷処理 13~15℃ (16時 30分~翌 8時 30分)		
育苗日数	92 日 (とちおとめ)、95 日 (さちのか)	77 日	84 日
定植年月日	平成28年9月2日(とちおとめ)、9月5日(さちのか)	平成 28 年 8 月 18 日	平成 28 年 8 月 25 日
栽植距離	うね幅 110 cm、ベット幅 70cm、株間 20 又は 25 cm、2 条植え		
定植株数	790 株/棟(株間 20cm)、630 株/棟(株間 25cm)	632 株/棟(株間 20cm)、504 株/棟(株間 25cm)	368 株/棟(株間 20cm)、296 株/棟(株間 25cm)
施肥量	N-P-K=追肥状況による (最終的に N2.5kg/a 程度を想定) 【基肥】N-P-K=1.5-0-0kg/a LP コート 100 日 (N:40):3.8kg/a 【追肥】大塚養液土耕 6 号 (13.5-10-20)	N-P-K=追肥状況による(最終的に N2.5kg/a 程度を想定) 【基肥】N-P-K=1.5-4.0-4.0kg/a LP コート 100 日(N:40): 1.9kg/a CDU 複合燐加安 S588(15-8-8): 5kg/a 【追肥】大塚養液土耕 6 号(13.5-10-20)	
使用資材	アヅミン:3kg/a、あったかマルチ	あったかマルチ	
収穫期間	平成 28 年 11 月中旬~平成 29 年 6 月中旬	平成29年3月上旬~平成29年6月中旬	
保温	内カーテン: 平成 28 年 10 月 24 日~平成 29 年 5 月上旬	内カーテン: 平成 28 年 11 月下旬~平成 29 年 5 月上旬 トンネル: 平成 28 年 11 月下旬~平成 29 年 3 月上旬	内カーテン: 平成 28 年 12 月上旬~平成 29 年 5 月上旬 トンネル: 平成 28 年 12 月上旬~平成 29 年 3 月上旬
加温	温風暖房機 (8℃設定): 平成 28 年 11 月上旬~平成 29 年 5 月上旬		
品種の構成			
栽培品種	<1>とちおとめ <2>さちのか ほか	<1>さちのか <2>紅ほっぺ <3>桃薫 ほか	麗紅ほか